

文献

- ・ 中小企業庁(2019). 2019 年度版中小企業白書. 397-400
- ・ 後藤一蔵(2014). 消防団—生い立ちと壁、そして未来—. 近代消防社. 112-117
- ・ 濱口和久(2020). 地域社会における消防団の位置づけと課題について. 政治行政研究. 11, 19-36.
- ・ 畑中美穂, 松井豊, 兪善英(2011). 惨事に出場した消防団員の急性ストレス反応. 筑波大学心理学研究. 42, 43-50.
- ・ 堀洋元(2014). 消防学校における惨事ストレス教育. 人間関係学研究：社会学社会心理学人間福祉学：大妻女子大学人間関係学部紀要. 16, 51-56.
- ・ 井伊久美子(2005). 災害時の地域看護—地域連携と保健師の役割—. インターナショナルナーシング・レビュー. 28(3), 60-65.
- ・ 松本美紀, 矢田部龍一(2008). 実被災者地域住民における地域防災活動継続意図の規定因. 自然災害科学会誌. 27(3), 319-330.
- ・ 元吉忠寛, 高尾賢司, 池田三郎(2008). 家庭防災と地域防災の行動意図の規定因に関する研究. 社会心理学研究. 23(3), 209-220.
- ・ 永田尚三(2013). 消防団の現状と課題 — 共助の要である消防団の衰退を食い止めることは可能なのか—. 武蔵野大学政治経済研究所年報. 7, 77-111.
- ・ 永田尚三(2019). 消防団の報酬問題を憂う：若者が入団を躊躇う組織文化が衰退を招く. 改革者. 60(5), 52-55.
- ・ 内閣府(2010). 平成 22 年度版防災白書.
http://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/h22/bousai2010/html/honbun/2b_1s_1_01.htm [2020-5-16]
- ・ 中尾理恵子, 川崎涼子, 杉山和一(2008). 長崎市内民生委員の活動のモチベーション. 保健学研究. 20(2), 25-29.
- ・ 落合知帆, 小林正美(2010). 地域社会における消防団の意識と役割に関する研究～世界遺産地域の白川村萩町地区の事例から～. 日本都市計画学会都市計画報告集, 9, 107-110.
- ・ 笹田敬太郎, 佐藤宣子(2013). 九州山村地域における消防団組織の現状と課題—消防団員の就業構造に着目して—. 林業経済研究. 59(3), 1-9.

- ・ 下夷美幸(2012). 東日本大震災と男女共同参画「人間の復興」に向けて. 福祉社会学研究. 9, 63-80.
- ・ 総務省ウェブサイト「消防団に関する大臣書簡」
https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01shoubo01_02000006.html [2021-1-10]
- ・ 消防庁(2007). 自主防災組織の手引き—コミュニティと安心・安全なまちづくり—
https://www.fdma.go.jp/mission/bousai/ikusei/items/bousai_2904.pdf [2020-5-10]
- ・ 消防庁(2011). 平成 23 年度版消防白書
<https://www.fdma.go.jp/publication/hakusho/h23/> [2020-5-10]
- ・ 消防庁(2012). 東日本大震災を踏まえた大規模災害時における消防団活動のあり方等に関する検討会 第 2 回本検討会 (平成 24 年 3 月 5 日) 参考資料
https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/items/kento003_74_sanko_01.pdf [2020-5-10]
- ・ 消防庁(2018). 平成 30 年度版消防白書.
<https://www.fdma.go.jp/publication/hakusho/h30/> [2020-5-10]
- ・ 消防庁消防・救急課(2018). 消防庁女性活躍ガイドブック.
https://www.fdma.go.jp/relocation/josei_shokuin/20180501-1.pdf [2021-1-18]
- ・ 武田道子, 忠津佐和代, 尾崎八代(2013). 中越地震被災住民が行った避難所等における健康を守る共助の活動. 日本災害看護学会誌. 14(3), 2-14.
- ・ 谷川和昭(2018). 民生委員・児童委員の活動実態と意識状況—赤穂市への若干の提言—. 関西福祉大学研究紀要. 21, 109-121.